

もみじ福祉会 ニュース



2001年5月 第26号

発行/社会福祉法人  
もみじ福祉会

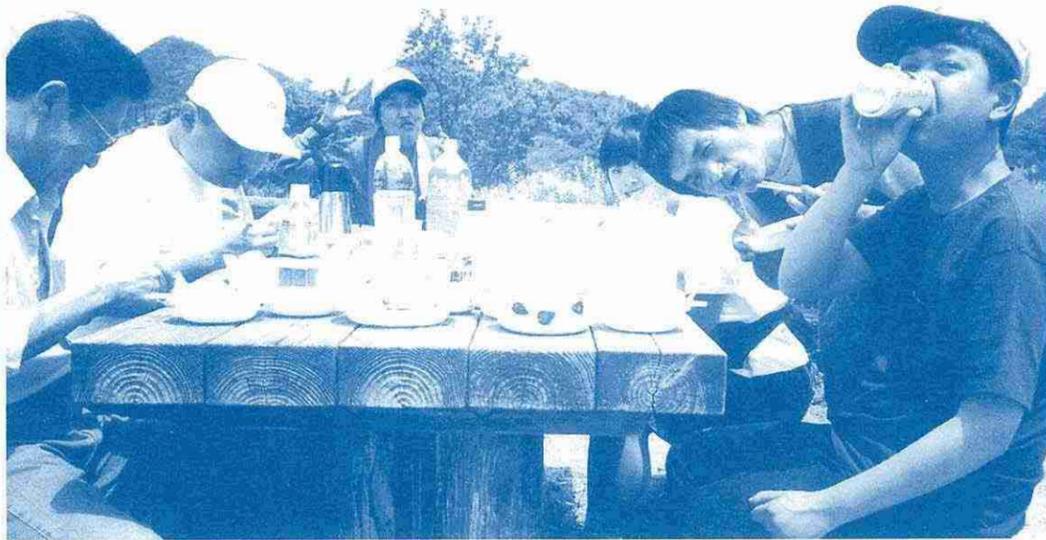


知的障害者授産施設(通所) 第一もみじ作業所  
身体障害者通所授産施設 第二もみじ作業所  
グループホーム つばさ・たんぽぽ  
〒730-0823 広島県広島市中区吉島西2-1-24  
TEL(082)243-0331 FAX(082)243-0497  
HP: www.fukushi-momiji.or.jp

もみじ福祉会の目指すもの(骨子)

私たちは、障害者も含めた地域で生活するすべての人たちが、文化的で平和な環境の下、自らの心と身体、そして人生の主人公として暮らせるための総合的な権利保障を目指し、以下の事に取り組みます。

1. 仲間(利用者)の生きる力の充実と生活の質の向上を目指します。
2. 地域の生活と福祉の向上への貢献を目指します。
3. 事業の民主的な運営と地域の諸団体との協力・共同を大切にします。
4. これらの実践の要となる、職員の、障害や発達保障、福祉や障害者運動についての専門性の向上につとめます。



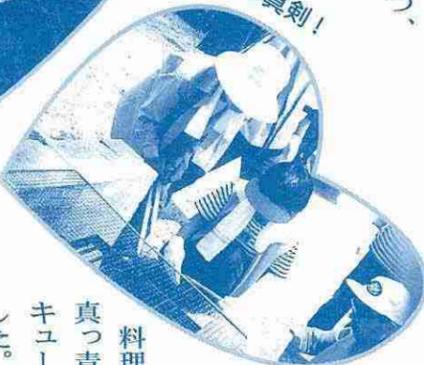
デイキャンプ in 瀬野川公園 2001.5.10

網に肉を  
置いた遠端に、  
片手にお皿・  
片手に箸で準備万端OK。

おいしいお肉を焼きましょう!



火おこし真剣!



料理の鉄人も  
真っ青のバーベ  
キューとなりました。



また、  
みんな  
やったビンゴゲ  
ムに強さを見せた

いつもは「私食べる人」も  
かまどの前に陣取って、炭に  
火をつけようと一生懸命です。  
煙がモクモクもなんのその。  
ごほごほ咳き込みつつ、  
もうすぐ焼ける美味し  
いバーベキューを  
イメージして楽し  
そうです。

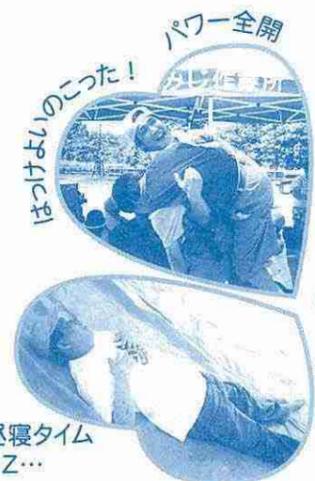


ビンゴゲーム  
何が当たるかな?



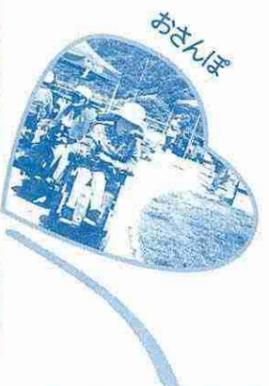
中には、バーベキューを美味  
しくするための「かまどの火の  
熾し方」をテレビ番組で見て、  
みんなに指導してくれる仲間も  
いて、バッチリ!

やったぜ 今日はいきなりデイキャンプ!!  
空は青いし、風も心地よく、キャンプのためのような  
空模様にも躍ります。  
「肉・肉・野菜・肉・肉」「いやいや野菜・野菜・野菜・肉・  
野菜」とバーベキューの食べる順番でも話が盛り上が  
ります。



パワー全開

はっけよいのこつた!



おさんぽ

お昼寝タイム  
Z...Z...

このデイキャンプは、仲間・  
職員はもちろん、たくさんの保  
護者の方も参加しての年に1度  
の交流行事です。かまどを囲ん  
で、お皿を囲んで、冷たいビー  
ルもぐつと飲んで、仲間・職員・  
保護者の区別なく互いに色んな  
話しの花を咲かせました。  
このような行事を通して、  
互いに理解を深めあう事が出来  
ます。立場や考えの多少の違い  
はあっても、目指すものは何な  
のか...おなじだねって感じあ  
えたのでは...。  
さあ明日からまた仕事がんば  
ろ!身障ホームグループホーム  
建設実現に向けてがんばろう!!

身障ホーム  
グループホーム

私たちの夢を応援して下さい  
夢づくり応援団

中国地方初の複合生活施設  
建設をめざして  
2億円の資金づくりにご協力をお願いします。  
●寄付 個人1口 3,000円  
団体1口 10,000円  
●作業所に持参して  
いただいてもOKです。  
★郵便振替  
口座 夢づくり応援団  
番号 01350-5-19452

募金箱を  
設置して  
頂ける所も  
募集中



お互いの名刺がに

身障者  
陸上競技大会

2001.5.20

今年もこの大会にもみじからは7名の仲間  
が参加しました。  
いろんな賞に記念品ももらいましたが、ナ  
ント言っても1番のおみやげは市長と名刺交  
換したことも。

# 仕事きつちり

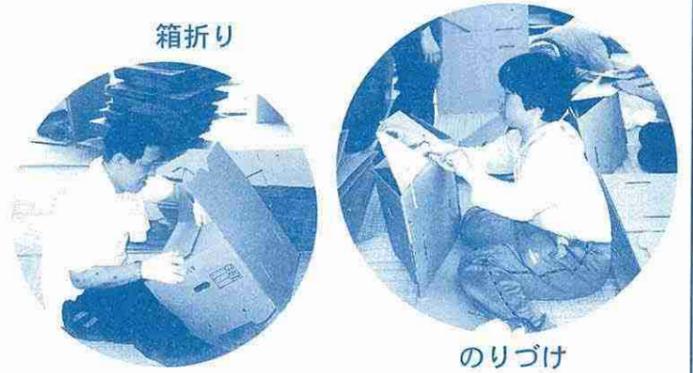
## いそぎの注文はりきります。

お仕事紹介シリーズ  
パートⅡ

# ダンボール グループ

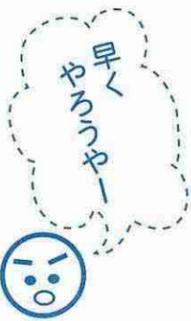
私達ダンボールグループは、仲間十五名、ボランティア一名、職員三名で仕事をしています。仕事内容をいいますと、マツダの車の部品を入れるダンボール箱の組み立て・のり付けや部品を固定するために使う「組ぶた」作りなどを行っています。また、病院で使用済注射器などを入れる箱も組み立て、のり付けをしています。

それぞれの仕事を工程ごとに分け、ダンボールを折る人、箱の底にのりをぬる人、十枚束ねて結束機でひもをかける人…と分担してやっています。十年以上この仕事をしている人も何人かいて、みんな手慣れたもので、朝の会で「No.1番のダンボールと組みぶたに分かれてやりましょう。」と確認すると、それぞれ自分で準備をし持ち場へ向きます。時には、のりをはみ出してぬったり、ぬり忘れたりする

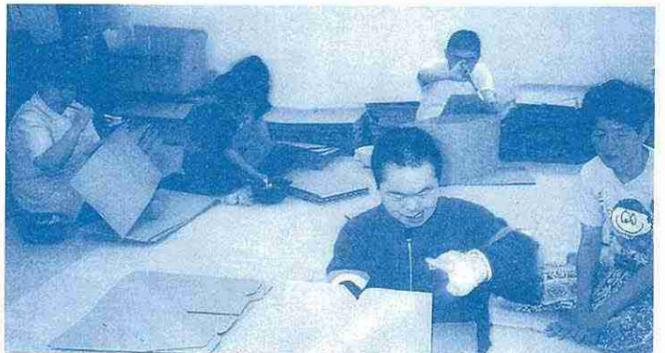


こともあるのですが、それはキチンとチェックし「絶対に不良品は出さない。」「給料がもらえなくなるヨ」などみんなで声をかけながら気をつけてやっています。

**いそぎの仕事  
みんな  
はいきつて!**



下請けの仕事ですので、時には「午前中に三百枚持って来て!」など会社から注文が入りますが、そんな時はみんなシャキッと背すじがのびて「早くやろうや」とはりきっています。会社からあてにされるとうれしいようです。



**不況に  
負けるな**

一方、この不況のせいで全体的に注文の量が減っており、一年間の総売り上げが年々減っている、というきびしい現実もあります。ダンボールの仕事やりながらも、一方で不況に負けない仕事、仲間により合った仕事を考えていかなければいけません。これからの課題として、みんなの前向きにがんばります。



栗田朱美さん

# 「もみじ」女性会

焼き、焼きそばなどつまんだりしてにぎやかです。さぞご苦労が多いだろうに、あのすがすがしい明るさに教えられること数々です。夏まつりのバザーの提供品が年々少なくなっているようで心配です。あちこちフリーマーケットもありますし、こちらも負けぬよう品物集めをしなければいけませんね。夏まつりが女性会の年間の行事の一つになりつつあり、会員の理解に感謝しています。

職員、保護者、色々なかわりのある人たち、それら皆様の真面目さ、謙虚さに頭がさがります。教えられることかすかすです。感謝しています。

いつの日か、福祉が向上して、作業所もお金集めに苦労しなくてもよい日が来るよう、皆さんがんばりましょう。

吉島女性会を通じ作業所のお手伝いをして頂くようになりました。現在、「もみじ作業所後援会」の副会長として、もみじ作業所を内外からも応援して下さる頼りになります。

## 研修報告

### 共作連 広島県支部実践交流集会

金沢先生 記念講演

#### 「精神障害者の医療と生活支援」

中沢道成

先生が「二十年前とは精神科医療もずいぶん変わった」と話されましたが、医療も含め共同作業所のあいつく開設など、確かに精神障害者をとりまく環境は大きく変わってきたと思います。「精神病患者」は「医療」の対象から「精神障害者」は「医療・福祉の対象へ、生活」においても病院か家庭かの二者択一から共同作業所をはじめとする社会参加へと動いてきました。

したわけではなく、ある調査では今でも全国の入院患者約三十四万人の内退院可能な社会的入院患者が八万人もおられるとのこと、もともとと変わっていく必要があると思います。まさに、先生が「投薬で症状は抑えられても病気は治らない。生活全般を考える必要がある」と言われた意味が問われています。また先生は「医師を教育するのは患者と家族」「主治医を自分の方に向かせること」と言われました。より開かれた医療にしていくためには、まだまだ家族・本人・関係者の二重の努力が求められるようです。

係で二、三点だけ紹介しますと、  
●ホームや作業所は病院の敷地ではなく町の中に。コミュニケーションの大切さ。  
●住民の反対は「関心」があるし。チャンスと捉えよう。説得する中にご意味がある。  
●家族や周囲は「見守る、自分で気づくまで待つ」ことが大事。口を出しすぎず、本人たちの決定権を尊重しよう。

最後に「声をあげることの大切さ」：問題を社会に出そう、行政にも要求をあげよう、と強調されました。その時代の福祉はその時代の力関係で決定されるといふ論がありますが、勇気をもって声を



その他、金沢先生から多くの教

自立したい

地域で  
くらしたい

～夢をかたちに委員会～

# 2億円ためて、僕らのうちを!

仲間たちの「自分らしく生きていきたい」「親から離れて自立して生きていきたい」「地域の中で働きながら通えるホームがほしい」そんな仲間たちの人としての当たり前の願いや夢が実現するように応援していただくことで結成されたのが「夢づくり応援団」。多くの人が趣旨に賛同して下さって応援団の輪が広がっています。

「みんなでがんばれば、きっとホームも出来るでしょう。力を合わせて前にすすみましょう。」

「少額ですが、協力させて頂きます。大変だと思いますが、心をひとつにしてがんばって下さい。」

そんな多くの暖かい声に励まされて、仲間たちも自分たちの夢を形にしていこうという決意のもと、自治会ひまわり会の中の専門委員会として「夢をかたちに委員会」を今年度よりスタートしました。

「私たちには夢を見る権利もないんですか」…これはある仲間が広島市に土地貸与のお願いに行った時の言葉です。夢や希望は人間らしく生きるために欠くことができないものです。夢を見ることも障害があることで心の奥深くに沈み込ませていることも現実として多いはずですが、みんな胸の中にとっても大切な願いを秘めています。それを眠らせてしまうのではなく、人間らしく生きていくために自分たちが主体となって「かたち」にしていこう、多くの人たちと繋がって「かたち」にしていこうというのが「夢をかたちに委

\*現在、募金箱を設置して下さる所、お店を大募集しています。ぜひ、ご連絡下さい。

● 夢づくり応援団  
・資金づくり担当…  
古城門(こきど)まで  
もみじ作業所内  
(082)243-0331



毎日仕事をがんばった後は、お楽しみがまっています。

金曜日の終わりの会で、もみじのクッキーを食べ、お茶でカンパイ! みんなで歌をうたったりして、「一週間くろくさん」とねぎらい合います。そして「乗過もがんばろう! エイ、エイ、オー!」

## コーヒー販売はじめました。

ゴールデンブレンド 250 円  
オーガニック 400 円

収益の半分は仲間の給料、半分は身障ホーム、グループホームの建設資金として使われます。  
みなさん、ぜひこの「おいしいコーヒー」を飲んでみて下さいね。

あたのーちー

## 行事目誌

<b>2月</b>	1日 広島大学医学部(八田ゼミ)見学来所 2日 ウイング自治会見学交流来所 4日 梅原可平チャリティコンサート合同練習 5日 仲間健康診断Ⅱ 生活自立訓練・C-5(～7日) 6日 広島市医師婦人会ボランティア来所 7日 もみじ作業所地域販売デー 8日 市立養護学校見学来所 14日 生活自立訓練・B-4(～16日) 16日 福岡県身障者授産指導所見学来所 17日 後援会主催 ：梅原可平チャリティコンサート 26日 市立養護学校保護者見学来所 28日 吉島小6年生見学来所	<b>3月</b>	3日 白石先生研修・事例研修会(～4日) 定期防火設備点検 6日 吉島小6年生見学来所 7日 もみじ作業所地域販売デー 生活自立訓練・D-5(～9日) 8日 もみじ作業所ポウリング大会 12日 もみじ福祉会第37回理事会 14日 生活自立訓練・B-5(～16日) 17日 埼玉かえでホームへ見学出張 22日 第2回避難訓練 23日 高橋先生発達診断と研修 26日 司法修習生見学交流 生活自立訓練終了式 もみじ福祉会第5回評議員会・第38回理事会 29日 もみじ作業所「年度末発表会」
<b>4月</b>	3日 設計業者説明会(プロポーザルコンペ) 4日 地域販売デー 12日 ソニー生命見学来所 13日 2000年度総括会議(～14日) 20日 もみじ福祉会保護者会総会 22日 横川商店街まつり出店 23日 設計会社個別面談会(プロポーザルコンペ) 26日 はばたこう交流会(県共作連・虹の会)	<b>5月</b>	1日 もみじ福祉会第39回理事会 3日 フラワーフェスティバル出店参加(～5日) 10日 デイキャンプ(親子共同) 14日 司法修習生見学交流来所 16日 印刷グループ:コスモス(東広島)を見学 19日 ナイスハートふれあいスポーツ広場参加 20日 広島県身障者陸上競技大会 22日 もみじ福祉会内部監査 26日 共作連全国大会参加(～27日・長野) 27日 広島県知福協会西部ブロック親善球技大会 28日 もみじ福祉会第6回評議員会、第40回理事会

### 重度重複の分科会に参加して

井上佳代子

中区のろう重複障害者の無認可作業所である「アイラブ作業所」のレポート発表がありました。

レポートでは、六十歳を超える高齢の利用者が自力通所に挑戦し

たり、未就学のため習得できなかった「手話」を習得したりと大きく変化していく様子が報告されました。一般的には、年齢を重ねれば重なるほど変化しにくかったり、新しいことに挑戦することが難しくなってくるように思われますが、「作業所にいきたい」という意欲が湧いてくるような作業所の魅力(実践)や共感し支えあえていくことの必要を感じました。

いくことにつながっていったという内容の発表がありました。大集団から小集団にかわったことで、ゆつくり話を聞いてもらうことが増えて、新しい仕事にチャレンジして自信をつけていったという報告を聞き、もみじでも仲間本当にあつた職場集団について、これからももっと考えていく必要性を感じ、また仲間が仕事をがんばる中で得た自信を、生活面の充実につなげていけるような援助をしていくことには必要を感じました。

また、もみじ作業所のレポートでは、仲間のポーンナス賃金の取り組みについての発表がありました。ポーンナス作りの話の中から、仲間の給料についての話に広がっていき、多くの参加者から仲間の給料が少ないねという意見がでてきました。もみじでも、仲間の「もっと給料が欲しい」という気持ちに答えられるよう取り組みを続けていく必要を一層感じました。



希望をのせて

「ふれあいプラザ」

OPEN

広島県・市のご協力のもと、四月十一日にオープンした紙屋町地下街「シャレオ」の中に広島県内の作業所自主製品を中心に販売する福祉ショップ「ふれあいプラザ」が誕生しました。

実演販売に  
いってきました

お店が軌道に乗るまでは当番制として各作業所で販売員を派遣するという事で、もみじ作業所でも四月十九日(木)二十日(金)に仲間(利用者)七名と職員四名で出かけました。また、この日はオープン記念イベントとしてさりを織りの実演を行うということになり、織り機一台を店内の交流スペース



さをり織り体験しませんか～、楽しいよ～。

ところが楽しいですか?と聞かれ、照れながら「いろんな色の糸が入られる所です」と答えていたのが印象的でした。また、いろんな作業所の製品を手にとり取って見ることができて勉強になったとも言っていました。

今後も障害をもった仲間の製品が沢山売られてくれることと、また、「ふれあいプラザ」を通じて障害者問題への理解や交流が広がることを願っています。

バリアフリー?  
ちょっと心配です

さて、この「シャレオ」は、障害を持つ方やお年寄りにも使いやすい地下街にして欲しいという事で、着工当時にいくつかの障害者団体が視察や市との懇談、説明会に参加したと聞いています。



ありがとうございます。え～っと、ネダンは...

ご寄付  
ありがとうございます  
中川繁子様  
もみじ福祉会  
後援会様

緊急時などのためのスロープが必要だ、地下街に下りなるとも紙屋町交差点が渡るように横断歩道はなさらないで欲しいなどの声が出たそうです。

完成してみると、確かに地下街専用のエレベーターは付いていますが、交差点の各角と市民球場前の計五カ所だけです。その間には直接車イスの方が地下街に登り降りできる箇所はありません。「福祉ショップ」であるふれあいプラザの近くにもエレベーターがないのも残念です。

また、結局スロープは整備されず、火災など発生した場合に車椅子の方が自力で逃げることはほぼ不可能と思われる、そういった事態に備えた整備が不十分です。

また、横断歩道がなくなった分なのは何よりも心配です。

今日の都市開発は、バリアフリーの視点が重視されているはずですが、一体こういった状況をどう考えていくのか、今後どういった運動が必要なのか、大きな課題を残していると思えます。

YAHHO!

あたらしい仲間



信長寛昌君

今年の四月から新しくダンボールゲームの仲間に加わりました。野球好き。ポケットの中にはいつもその日の野球の試合の日程表が。一緒に観に行ってくれる人大募集中です。もみじ作業所に来てもうすぐ二ヶ月。ずっと前からみじにいるような感じがする信長くん。仕事にもすっかり慣れました。ちょっと照れ屋だけどよく気が付く信長くん。末長くよろしくお願いします。

こんにちは!はじめまして!! よこもと みかです。

5月3日に25歳になったばかりのピチ・ピチ・ギャルです。

さをり、縫製グループでフキンの袋のシールがしのお仕事を頑張ってます。

ドラえもんCDがお気に入りです。

歌をうたうのも得意なので、もみじの仲間とコンサートのステージで歌うことを楽しみにしています。

ヨ・ロ・シ・ク!!



横本美香さん

グループホーム・身障ホーム合築施設建設支援  
夢づくり応援団

へのご寄付  
ありがとうございます。

- 中村 松代、土井 久恵、上杉 大蔵、小谷恵美子、片山 文雄、田丸 和子、石川セツ子、佐々木徹夫、高美 修、川藤寿美子、加藤 夏子、正村 夏子、白石 正久、立岡 正久、玉浦 章平、五島 平夫、堀田 一郎、井上 一成、山岡 靖子、野津 春夫、日域 昭三、広島市医師婦人会、おひさまネット、山田 トモ、アーキホテル広島、中原美保子、小西 久代、清水 満雄、松浦 五郎、藤上田倉人商店、藤葉 真紀、川口谷幸子、中村 昭、福川キミエ、J R 広島団体旅行支店、倉光 恒政、須本 幸代、加藤 寛治、みどり作業所、亀田 咲子、入江 佳子、赤木 幹徳、木下 和、後藤 恭子、鈴木 勉、溝本 松彦、三宅美代子、背戸 守、夢をかたちに委員会

(4月30日まで 敬称略)

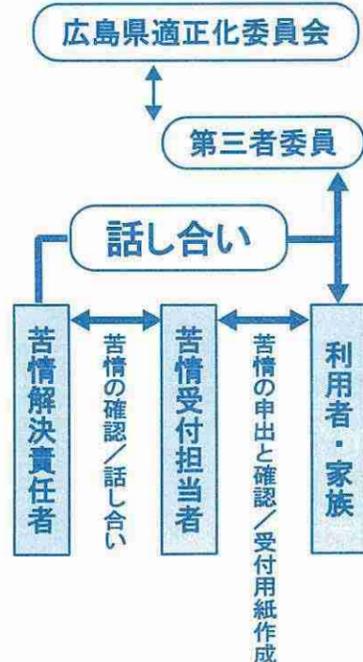
後援会コーナー

いつもご支援ありがとうございます。今年度も、地域のためにもなっ、もみじのためにもなるような楽しい企画を考えます。よろしくお願ひします。2001年度の更新(会費納入)の方もよろしくお願ひします。

\*振り込み先(郵便振込)  
社会福祉法人もみじ福祉会後援会  
池田光 01370-9-5948

ぜひ、もみじ福祉会後援会にご入会ください。  
\*年会費は、  
個人 2000円  
団体 5000円(1口)です。  
\*ご連絡いただければ、資料など送付致します。  
TEL(082)-243-0331

もみじ福祉会苦情解決のしくみ



尚、第三者委員については、複数体制とすべく、今後も適切な人材を選考していきます。

お知らせ  
もみじ福祉会  
苦情解決窓口  
設置について

この度の社会福祉事業法の一部改正に伴い、利用者等からの苦情を迅速・適切に解決するため、経営者に対し「苦情解決」体制の整備が義務づけられました。もみじ福祉会では、本年三月の第5回評議会・第38回理事会にて以下の体制とすることを決定しました。

日常の対応や処遇に関わる問題から諸福祉サービスに関わる問題など、電話でも来所でも書面でも結構ですのでご利用下さい。

- 苦情受付担当者 古城門淳子(第一もみじ作業所・指導員)
- 苦情解決責任者 井上 一成(第一もみじ作業所・所長)
- 第三者委員 榊 敏正